

# 【青果物ガイド 果実 10月】 <2018年度>

10月は、実りの秋と言われているように極早生みかんを始め、様々な種類のりんご、柿、ぶどう、晩生種の梨等の秋果実が充実してきます。今年は7月の西日本豪雨やその後の高温・干ばつ、9月の台風21号など災害が多く発生していますが秋果実にも全般に影響を与えている状況です。特に、愛媛産のみかんや栗は、前年に比べ入荷量が激減する見込みです。また、りんご、梨においては小玉傾向及び風によるスレから下位等級比率の上昇、柿は玉伸びは良いもののこちらも風による下位等級比率の上昇がみられます。

※入荷状況は今後の天候によって大きく変わる可能性もあります。日々の詳しい状況につきましては果実部の果実週間情報や、翌日の入荷状況等もご参照頂きますようお願い致します。

	前年度実績			本年見通し (前年同月比)			中心 等階 級	入荷 始め	ピーク	終盤 時期	数量:トン 単価:円
	県名	数量	単価	数量	単価	主産地					10月概況
極早生みかん	熊本県	171.2	191	◎	○	熊本市	M>S >L	9月中 旬	10月 中旬	10月 下旬	熊本…夢未来豊福10/1~下旬の販売。高糖度肥のさきがけ10/6頃入荷開始。和歌山…10月上旬より入荷開始。玉伸びもほどよく、台風の影響もほぼ無く現状では順調な出荷予定。愛媛…10/1販売よりえひめ中央中島産週2回火・木入荷で10/19までの計6回の予定。○谷青果の入荷も有り。
	和歌山県	69.2	236	○	=	マル有共選	M>L >S	10月 中旬	10月 中旬	11月 中旬	
	愛媛県	39.5	158	△	=	○え他	S>M	9月中 旬	10月	10月 末	
ふじ	山形県	7.4	194	=	=	商人	32玉	10月 中旬		12月 下旬	32玉中心の入荷。
王林	山形県	5.5	92	=	=	商人	32玉	10月 中旬		11月 下旬	32玉中心に40玉の入荷。
シナノスイート	長野県	10.7	357	△	=	高山	32玉> 36玉	10月 中旬		10月 下旬	長野:32玉>36玉中心の玉流れ 山形:32玉中心の入荷 福島:本年より入荷予定
	山形県	11.1	251	=	=	商人	32玉	10月 中旬		11月 中旬	
	福島県			10	250	ふくしま未来	32玉	10月 中旬		10月 下旬	
早生ふじ	青森県	14.7	281	=	=	つがる弘前	36玉	10月 中旬	10月 中下	11月 中旬	青森:予想していたよりも玉伸び進まず、1階級小さい玉流れが予想されます。台風被害も思いの外少なかったものの、傷果等下位等級比率高くなる見通し。 山形:36玉中心の入荷。
	山形県	11.8	202	=	=	商人	36玉	10月 中旬		11月 中旬	
トキりんご	青森県	6.7	262	=	=	つがる弘前	40玉	10月 中旬	10月 中旬	10月 下旬	青森:例年より小玉比率高い見通し。台風による下位等級比率の引き上げと輸出が好調なことから、国内流通は少なめ予想。

【記号の見方】数量: 増◎ やや増○ 並= やや減△ 減✓

【記号の見方】単価: 強い◎ 強保合○ 並= 弱保合△ 弱い✓

# 【青果物ガイド 果実 10月】 <2018年度>

	前年度実績			本年見通し (前年同月比)			中心 等階 級	入荷 始め	ピーク	終盤 時期	数量:トン 単価:円
	県名	数量	単価	数量	単価	主産地					10月概況
秋映りんご	長野県	23.4	233	△	=	高山	32玉> 36玉	10月 月上旬		10月 月中旬	長野:台風の影響から正品率やや低い見通し。
つがる	青森県	12.0	208	=	=	つがる弘 前	40玉	9月上 旬	9月下 旬	10月 月上旬	青森:玉伸び悪く、当初の計画より1割以上少ない状況。終了時期も若干早まる見込み。
赤梨	岡山県	19.3	333	=	=	〇ヲ久米	6~7 玉	9月中 旬	10月	10月 末	岡山:小玉傾向。食味は良いと思われる。
西洋梨	山形県	7.9	282	△	=	商人	16玉	10月 下旬		12月 月上旬	山形・長野ともに台風の影響で入荷減の予想。
	長野県	1.9	404	△	=		16玉	10月 月上旬		11月 下旬	
無花果	岡山県	5.9	560	=	=	笠岡	6~7玉	8月中 旬		10月 末	岡山・広島ともに降雨により、入荷不安定。
	広島県	1.1	1004	=	=	尾道	6~7 玉	8月下 旬		10月 末	
富有柿	奈良県	5.8	245	=	=	西吉野	2L	10月 下旬	11月 中旬	12月 末頃	奈良…昨年より玉数は少なめも、その分玉伸び良い状況。台風被害は、風擦れによる下位等級比率の上昇がほとんどの様子。
	岡山県	6.7	141	=	=	各地	L	10月 下旬	11月 月上旬	11月 下旬	

## 【10月の美味しい話①】

新物のりんごの種類が増えました！今回は、トキ、シナノスイート、秋映(あきばえ)のご紹介をします。  
トキ…外観は黄色い果皮に(陽にあたったところが)紅色が少し着色します。掛け合わせは王林×ふじ。甘みが強いのが特徴です。

シナノスイート…果皮の色は赤。掛け合わせはふじ×つがる。食味は甘酸適和で非常によく、人気の品種です。

秋映(あきばえ)…果皮の色は濃赤～暗赤。甘さに加えて酸味が強いのが特徴です。

### ●りんご三兄弟をご存知ですか？●

長野県生まれのオリジナル品種、秋映(あきばえ)、シナノスイート、シナノゴールドの3つを合わせて「りんご三兄弟®」と呼びます。3品種は収穫時期も味も異なりますが、どれも美味しいりんごです。※「りんご三兄弟®」はJA全農の登録商標です。

【記号の見方】数量: 増◎ やや増○ 並= やや減△ 減✓

【記号の見方】単価: 強い◎ 強保合○ 並= 弱保合△ 弱い✓

# 【青果物ガイド 果実 10月】 <2018年度>

	前年度実績			本年見通し (前年同月比)			中心 等階 級	入荷 始め	ピーク	終盤 時期	数量:トン 単価:円
	県名	数量	単価	数量	単価	主産地					10月概況
富有柿 以外の柿	奈良県	112.3	135	=	=	西吉野	2L	9月下旬	10月上旬	11月上旬	奈良:最初はL中心、徐々に2L中心へ移行見込み。昨年ほど小玉傾向とはならない様子。台風の影響にて下位等級増える可能性高い。 岡山:西条柿、太秋柿他各品種が県内各地より入荷予定。
	岡山県	24.4	253	=	=	各地					
西条柿	鳥取県	9.6	246	=	=	いなば	2L	10月中旬	10月下旬	11月上旬	鳥取:昨年とほぼ同様の生育状況となっていますが、やや小玉傾向の様子。
	岡山県	8.5	267	=	=	各地					
ピオーネ	岡山県	53.5	734	△	=	県北	4房> 5房	5月上旬		10月下旬	県北中心の販売。切り上がり早い見通し。
桃太郎ぶどう	岡山県	8.3	1059	△	=	各地		6月末		11月末	岡山:裂果が発生しており、桃太郎ぶどうとしての出荷少なくなる可能性有り。
シャインマスカット	岡山県	22.8	1201	=	=	久米南 吉井					県中北部の産地へと産地リレーします。
アールスメロン	熊本県	3.6	442	=	=	鹿本	2L	通年			熊本:2L中心Lの入荷。 長崎:2L中心3L4Lの入荷。 高知:新居、春野他の入荷。6玉中心。
	長崎県	2.6	496	=	=	深江	2L	9月上旬		10月中旬	
	静岡県	0.8	1294	=	=	○静	6玉	通年			
	高知県	1.3	490	=	=	新居他	6玉	10月下旬	通年		

## 【10月の美味しい話②】 ■洋梨は追熟が決め手！ ■

すももやメロン、キウイ等と同様に洋梨も追熟が必要で、きちんと追熟できていないと残念な食味になりがちです。洋梨と一言で言っても、追熟加減が見た目の変化(緑色から黄色に変化するル・レクチェ等)から分かるもの、香りが立ってくるもの、見た目、香りともに変化の無い物等さまざまです。基本的にはなるべく固めの物を購入し、手で触って、軸の周りが柔らかくなるのを待つのがおすすめです。また、万が一追熟する前の物をカットしてしまった場合はコンポートに、追熟しすぎた物はジャムにすると良いです。



「ル・レクチェ」



「ラ・フランス」

【記号の見方】数量: 増◎ やや増○ 並= やや減△ 減✓

【記号の見方】単価: 強い◎ 強保合○ 並= 弱保合△ 弱い✓

# 【青果物ガイド 果実 10月】 <2018年度>

前年度実績			本年見通し (前年同月比)			中心 等階 級	入荷 始め	ピーク	終盤 時期	数量:トン 単価:円	
県名	数量	単価	数量	単価	主産地					10月概況	
キウイフルーツ	ニュージーランド	18.2	481	◎	=					ゴールドキウイ(NZ)…10月中旬までの販売(25玉中心。小玉は少量)グリーンキウイ(NZ)は順調な入荷。八女:レインボーレッドの入荷。前年に比べ「カイヨウ病」の影響で半作の見込み。SP中心の33玉、25玉、23玉のトレ若干入荷予定。	
	福岡県	7.8	707	✓	○	八女	スタン ドパツ	10/1			10/20頃
栗	愛媛県	3.3	783	✓	○	○え	3L~2 L	9月上 旬	9月末 ~10	10月 中旬	愛媛:愛媛県下、西日本豪雨と干ばつの影響で昨年比60~70%の作柄見込み。週2~3回の入荷予定。岡山:県内各地より入荷見込み。例年と比べ実入り少なく、小玉傾向。
	岡山県	1.2	591	△	=	各地	L	9月中 旬		10月 中旬	
バナナ	フィリピン	139.7	176	=	=						高冷地物(スイーティオ・完熟王)は少ない。他は順調な入荷予定。
	エクアドル	41.4	179	=	=						
	メキシコ	8.4	188	=	=						
レモン	チリ	20.3	277	△	○						チリ産の残品により、アメリカ(新物)が出荷されるまで数量減。
グレープフルーツ	南アフリカ	6.0	185	=	=						入船は終了。浜残の販売。
オレンジ	オーストラリア	25.5	259	△	○						大玉有り。小玉の入荷は10月中旬に入荷見込み。オーストラリアのバレンシア種は小玉中心。

## ■11月以降の品目の現状況について■

紫苑…現在、昨年と変わらない入荷見込み。ただバンプの発生が見受けられ、出荷減が見込まれる。

あたご梨…現状ではまだ玉流れや出荷についてはわからない。

いちご…(岡山)例年通りと思われる。夏場の高温で苗の確保が難しい状況かもしれません。

【記号の見方】数量: 増◎ やや増○ 並= やや減△ 減✓

【記号の見方】単価: 強い◎ 強保合○ 並= 弱保合△ 弱い✓